

住 所

商号又は名称

代表者職氏名

送付担当者

電話番号

件 名 すばる大ホール外装防水改修工事

質 疑 事 項		回 答
1	タイル張り替え改修で使用するタイルは、現場在庫品を張るのですか？それとも特注で作成するのですか？また、特記A-03で、「標準的な曲がり(小口、標準、二丁、びょうぶ)の役物は一体成形とする。」とありますが、工期・材料納期を考えると、接着成形で対応しないと間に合わないと考えますが、どうでしょうか？	現状タイルに近い標準品とし、監督員の承認を得ること。 役物は接着成形でも良い。
2	タイル浮き部、及びタイル下地浮きの処理工序で、アンカーピン挿入後、穿孔した部分を樹脂パテでシールする。と有りますが、意匠上、目地材は使用しないですか？	目地材は使用しない。
3	図A-08劣化参考数量中、S-1で、ひび割れと補修ひび割れに分けてあるのは何か意味があるのですか？	補修ひび割れは、過去に補修を行っているひび割れです。
4	特記A-04で、S-1中「モザイクタイル部分は、周囲カッター切りの上、50mm程度タイルを撤去し、補修後、樹脂モルタルにて平滑にすること」とあるのは、タイル張り復旧はしないと考えてよいのですか？	タイルは原則張替えです。
5	図A-11劣化参考数量中、天井はがれ・改修工法S-3といいる欄がありますが、大きさはどれ位ですか？(セバ跡漏水も)また、別図を見ると天井面に断熱材が打ち込まれている様な図になっていますが、補修後その部分の処理は、どのようにしますか？回答をお願いします。	天井はがれは100×100、セバ跡漏水は20×20です。 天井はがれ(S-3)は断熱材の補修です。